

「植物の体のつくりとはたらきセット」(原色標本)を活用した理科の授業例(小学校)

第3学年〇組 理科学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 植物を育てよう

2 単元について
—省略—

3 単元の目標
—省略—

4 学習計画
—省略—

5 本時の学習

(1) 目標

いろいろな植物の体のつくりに興味・関心を持ち、進んで調べることができる。また、植物の体は、葉・茎・根からできていることを理解することができる。

(2) 準備・資料

植物の体のつくりとはたらき(原色標本)、校庭に生える植物、虫めがね

(3) 展開

時間 (分)	学習内容・活動	支援・評価
2	1 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">植物のからだのつくりを調べよう。</div>	・様々な植物の写真や標本を見せ、植物のからだのつくりに興味・関心を持たせるようにする。
8	2 様々な植物の写真(教科書 P39)を見て、どこが葉・茎・根なのかを考える。 ・葉はたくさん増える。 ・茎はまっすぐ伸びる。 ・根は土の中にある。	・これまでに学習したヒマワリやホウセンカのからだのつくりを想起させ、植物のからだのつくりについて考えさせる。 ・葉・茎・根を見分ける視点を確認する。
15	3 様々な植物のからだのつくりを調べ、スケッチする。 (1) 採集した植物をつかっからだのつくりを調べる。 (2) 葉・茎・根の区別を考えながらスケッチする。	・細かい部分は虫めがねを使用して観察するように話す。 ・植物のからだのつくりのキーワード(葉・茎・根)を確認し、自分の言葉でまとめられるように支援する。 ・葉や根の色、形、大きさの特徴に気付かせる。
10	4 葉・茎・根がどのような役割をしているのか考える。 ・葉は太陽の光をあびる。 ・茎は体をささえる。 ・根は水を吸う。からだをささえる。	・これまで栽培経験(アサガオ、ヒマワリ、ホウセンカ等)から、葉・茎・根の役割を考えさせる。簡単に扱い、5、6年生で学ぶ水を吸い上げる仕組みや光合成につなげる。
5	5 今日の学習のまとめをする。 ・植物の体は葉・茎・根からできている。	・植物の体のつくりについてキーワードを使ってまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">㊦ キーワード(葉、茎、根)を利用して植物のからだのつくりをまとめている。 (ワークシート:知識・理解)</div>
5	6 様々な植物の葉・茎・根のようすを確認する。	・教科書にあるめずらしい植物サキシマスオウやマングローブ等の写真を見せ、植物のからだのつくりの面白さに触れ、興味をもたせる。

※ 本時は、前時で学んだヒマワリ、ホウセンカの体のつくりが葉・茎・根でできているという概念をその他の植物にも押し広げる学習である。コケ植物やシダ植物、藻類等は扱わない。